

腰椎 [] の手術 を受けられる 様へ

日付	術前期間		術当日		術後1～3日目	術後4～13日目	術後2週間	術後3～4週目	退院前日	退院
	術前	術後								
達成目標	・手術に対する心身の準備が出来る				・手術の合併症がみられない ・痛みのコントロールができる ・コルセットの必要性を理解できる	・運動能力の向上が図れる ・離床が出来る ・痛みのコントロールができる	・退院後の日常生活について理解できる			
治療剤 (点滴・内服)	・薬の種類により中止になる薬があります 	・下剤を内服します	・点滴をします(翌朝に抜きます) ・手術室に行く前に肩から注射をします(必要) 		・朝夕の抗生剤の点滴があります(1～2日程度) 					
処置	・コルセットのサイズ計測があります 		・下剤の効果がなければ、洗腸をします ・弾性ストッキングを片方の足に履きます ・腰の剃毛することがあります ・手術によっては、鼻から胃に管を入れることがあります	・術後は酸素マスクをします(状況を見て終了します) ・術後、フットポンプを装着します	・傷の消毒を行います ・傷に管が入っている場合は、2～3日目に抜きます	・術後7～10日目、傷の状態がよければ、抜糸をします ・弾性ストッキングを脱ぎます				
検査	・レントゲン・脊椎造影などの検査があります				・術後1日目に採血があります	・術後4日目に採血、7日目に採血・レントゲンがあります		・術後3週目に、レントゲンがあります		
安静度 (リハビリを含む)	・特に制限はありません(ただし、造影検査後は安静とします)	・リハビリにて、術前にチェックをします		・術後はベッド上安静です ・コルセット装着後、横向きになれます	・歩行器で歩けます(歩行開始時期は、症状により差があります) ・術後1日目より、リハビリが始まります	・階段昇降が出来ます 				
食事 (食事指導を含む)	・食事制限は特にありませんが、高血圧・糖尿病等あれば、それぞれ治療食となります	・21時以降、飲んだり食べたり出来ません 		・お腹が動き始めれば飲水できます	・朝から食事が始まります ・徐々に通常の食事に戻ります ・治療食の方は栄養指導があります	・6階のレストランで食事をする事もできます				
清潔	・シャワーに入れます(ただし、造影検査後は翌日まで入れません)				・身体拭きを毎日行います(コルセットを外して身体を拭きます)	・傷の状態がよければシャワーに入れます 				
排泄	・特に制限はありません(ただし、造影検査後は床上排泄とします)	医師・看護師より手術の説明があります		・手術室で尿の管を入れます	・術後1日目、状態をみて尿の管を抜きます					
患者様・ご家族様への説明 (入院費を含む)	・看護師より病棟の説明があります ・手術の必要物品と弾性ストッキングの説明を行います ・入院時、必要書類を提出して頂きます	(/ : ~) ・手術室看護師の訪問があります ・手術の必要物品の準備をします	・ご家族の方は手術前までにご来院ください 	・術後、医師よりご家族へ説明があります ・生命保険の診断書は作成に10日～2週間ほどかかりますので早めに提出してください				・退院後の生活について説明します ・退院前にコルセットの不備がありましたらお知らせください	・再来日・受診の方法の説明を行います ・入院費の計算ができるまでお部屋でお待ちください	